

令和5年度

幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修

研修の手引き

福井県教育委員会

園名	
氏名	

目 次

1	教員と研修について	1
2	実施要項	4
3	提出書類等	6
	各書類の詳細	6
	提出経路	7
	園内研修計画書〈記入例〉	8
	園外研修計画書〈記入例〉	9
	〈教育総合研究所案内図〉	10
	〈福井県教員育成指標〉	11

園内研修の問合せ

福井県幼児教育支援センター

〒918-8135 福井市下六条町1-4-1 福井県生活学習館2階

TEL: (0776) 41-4231

Mail: youji-c@pref.fukui.lg.jp

園外研修の問合せ

福井県教育総合研究所 教職研修センター 教員研修課

幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修担当

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1 TEL: (0776) 58-2160

Mail: k-kensyu@fec.fukui-c.ed.jp

1 教員と研修について

1 教員としての研修

(1) 研修の必要性

幼児教育の成果は、その担い手である教員の資質・能力に負うところが多い。幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。これからの先行き不透明な時代をたくましく生き抜く力の基礎を育むためにも、教員は、幼児を内面から理解した上で、幼児の主体的な活動が確保されるように物的・空間的環境を構成するとともに、幼児の活動を豊かにする人的環境も担っている。さらに、小学校や家庭との連携等、今日の教育課題を解決する上で、教員の資質・能力の向上を図ることがますます重要になっている。

このため、各教員が教職のスタートとしての幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修に主体的・積極的に参加し、各自の教員としての資質・能力を高めるとともに、これからの教員としての課題等を把握し、継続的な研修を続けていくことが大切である。

(2) 資質・能力の向上を目指して

福井県教育委員会は、公立の学校の教員に対して「福井県教員育成指標」に基づく研修を行っている。教員は、免許制度によって一定の資格を取得しているが、それだけでは決して十分ではなく、絶えず進展する学問や社会の変化に対応しながら教育に当たる必要がある。

今日、教員に対して、教育者としての使命感、情熱、幼児に対する教育的愛情、広く豊かな教養、一人一人の幼児の理解に基づく実践的指導力等の資質・能力が従来にも増して求められている。そのため、教員は研究と修養に努め、資質・能力の向上を図ることが大切である。

(3) 教員に求められる資質・能力

①教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心

かけがえのない幼児の心身の健全な育成を図るためには、職務への誇りと愛着とともに、教育者としての強い使命感と倫理観、人権意識など、豊かな人間性を備えていることが求められる。

②専門的知識・実践的技能

幼児は、自発的な活動である遊びを通じて、心身全体を働かせ、様々なことを経験しつつ、理解力、言語表現能力、運動能力、思考力、社会性、道徳性などの多様な能力や性質について総合的な発達を遂げる。

教員には、このような幼児の発達段階や発達過程をその内面から理解し、幼児の示す発見の喜びや達成感を、共感を持って受け入れるといった幼児理解が重要である。幼児の総合的な発達を促すため、主体性を引き出しつつ遊びを通じて総合的に指導する力が求められており、幼児期の特性に応じた指導ができる専門性が求められる。

③円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応する力

幼稚園ならびに認定こども園は、保護者や地域住民の厚い信頼に応えることが重要であり、園が目指す教育目標を達成するためには、園長の下、全教職員が手を携え、一丸となって教育活動に取り組むことが必要である。

そのためには、個々の教員が高い専門性に支えられた指導力を発揮することはもとより、全教職員が協働しながら、組織的・計画的に取り組むことが必要であり、組織人としての自覚や協調性、また、それぞれの職務に応じたマネジメント能力を身に付けていくことが求められる。

④幅広い教養を身に付け、自立した社会人としての良識や幅広い視野

社会情勢が大きく変化する中、日々新たに生じる課題への対応は、教育においても求められている。教員は、社会の変化を的確にとらえ、教育内容や教育制度等の変化に積極的に対応することが必要であり、様々な課題を解決できる能力を身に付けていくことが求められる。

2 研修の基本的な考え方

研修は、教員自身による自発的な研修が基本である。また、各園が組織全体で教育力を高めていくためには、園内研修が不可欠であり、園長のリーダーシップの下、組織的、計画的に実施されることが求められる。更に、園外研修は自主研修や園内研修を補完するための研修として重要である。

(1) 自主研修

研修は教員自身による自発的な研修が基本であり、知識、技能等の向上を図るとともに、教育課題の解決を図るため、自主研修に努めることが何より大切である。

(2) 園内研修

幼児の実態に応じた適切な指導を行う上で、園内研修は大変重要である。特に、日々の保育における指導力を高めるためには、互いに保育を公開し、意見を交換することが効果的であり、望ましい指導の在り方について研究を進めることが大切である。

また、園が抱える課題については、個々の教員が認識するとともに、園全体で組織的、継続的に取り組み、評価、改善していくことが必要である。

(3) 園外研修

教員が、教育総合研究所等において保育等に関する専門的な研修を受けることは、自主研修や園内研修で得られた知識や技能等を一層高める上で効果的である。

また、同じ課題を持った教員や勤務歴が同程度の教員が集まることで、相互に学び、資質・能力を高めることができるため、研修の効果は大きい。

(4) 経験年数や職務に応じた研修

教員は、その経験年数に応じて担う役割が異なる面もあることから、求められる資質・能力は様ではない。このため、教員は、経験年数や職務に応じて自らの適性或課題を的確に把握し、計画的に研修を進めることが必要である。

3 研修の心構え

- (1) 研修の目的、研修内容等を、あらかじめよく理解した上で研修に参加することが大切である。また、日々の教育実践から生まれる疑問をまとめて課題にまで高め、問題意識をもって参加することが望ましい。そして、研修の成果が幼児に還元されるように努めることが大切である。
- (2) 研修の記録を整理するとともに、その内容をまとめて、活用を図るように心掛けていくことが必要である。
- (3) 集団の研修は個人の研修によって支えられており、個人の研修は集団の研修によって高められていくものである。よって、園内研修や園外研修に進んで参加し自己を磨くとともに、個人の研修の成果を集団の研修に反映していくように努めることが大切である。
- (4) 幼児は教員の指導力、情熱を敏感に見抜くものである。「保育をしながら幼児から学ぶ」という態度こそ、教員にとって大切な姿勢である。自ら成長し続ける教員こそ幼児の成長を促すことができると意識し、日々の業務を教員としてのかけがえのない研修の場として考えることが大切である。
- (5) 日々、業務の合理化や効率化を図りながら、自ら工夫して研修の時間を生みだしていくことが大切である。

4 研修内容

資質・能力	園内研修 ※	園外研修
素養	<ul style="list-style-type: none"> ・新任教員としての心構え ・保育者としての常識、マナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務・規律 ・幼児教育の方針・目標・現状と課題 ・福井県の教育と幼児教育の概要 ・社会人としての常識 ・幼児教育と関連法規 ・幼児の人権
指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の展開と反省・評価 ・環境構成の考え方と実際 ・園具・教具の工夫 ・心の教育の基礎 ・指導計画（週案、日案）の作成 ・行事の考え方と実際 ・記録のとり方と指導要録の記入の実際 ・幼児の理解と指導の実際 ・学級経営の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程と指導計画 ・領域【健康】の理解と指導法 ・領域【人間関係】の理解と指導法 ・領域【環境】の理解と指導法 ・領域【言葉】の理解と指導法 ・領域【表現】の理解と指導法 ・教育相談の基礎的な理論と方法 ・気がかりな幼児への支援 ・幼児の心と体の発達のかかわり ・幼児の安全 ・保育参観と研究協議
マネジメント ・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標と学級経営 ・組織と個人の役割（園務分掌） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標の理解 ・教職員のメンタルヘルス ・自己マネジメント
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・園の自己評価と情報提供 ・健康安全指導の進め方 ・教育相談、保護者会の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・幼児教育から小学校教育への接続 ・保護者・地域社会との連携

※ 留意事項

- (1) 研修内容については、例示してある研修内容を組み合わせたり、必要に応じて加除したりする等、地域や園の実情、対象者の経験（講師歴、保育所勤務歴等）の有無に応じて工夫する。
- (2) 1年間にわたり計画的に行い、実践を通じて、より具体的な研修を進めるようにする。

2 実施要項

1 目的

幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修は、幼稚園ならびに認定こども園の新規採用教員に対して、幼児期の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、幼児教育の基礎、指導方法、教育課程の編成等に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得られるようにすることを目的とする。

2 対象者

令和5年度当初の公・国・私立幼稚園ならびに幼保連携型認定こども園の新規採用教員
令和4年度途中における公・国・私立幼稚園ならびに幼保連携型認定こども園の新規採用教員

3 内容

- (1) 園内において、実際の保育実践を通じた保育研究についての研修を、年間5日間実施する。
(以下、園内研修という。)
- (2) 教育総合研究所等において、教育課程と指導計画、五つの領域の理解と指導法、気がかりな幼児への支援等に関する研修を年間6日間実施する。(以下、園外研修という。)

4 期間

実施期間は、令和5年度の1年間とする。

5 実施主体

福井県教育委員会が関係教育委員会ならびに所管する機関の協力を得て、これを実施する。

6 園内研修・・・年間5日間（原則1日6時間実施）

公立園対象者は所管の市町職員（指導主事、保育専門官、市町幼児教育アドバイザー認定者等）、
国・私立園対象者は園長等の指導・助言による研修を受講する。

ただし、公立園対象者で保育士経験が3年以上あり、教諭の職務の遂行に必要な知識や経験が十分であると認められる者は、所管の市町担当課と協議の上、園長等の指導・助言による研修に替えることができるものとする。

なお、公・国・私立園ともに市町職員、園長等による指導・助言が実施できない場合は、県が任命する園内研修指導員による指導・助言に替えることができる。

また、この園内研修の指導・助言を行う者は、「園内研修ガイド（福井県幼児教育支援センター）」を参考にしながら指導・助言を行うこととする。

7 園外研修・・・年間6日間

「園外研修計画」（p.5）に基づき、教育総合研究所等において、講義・演習等による研修を受講する。

園外研修計画

	日 時	公立		私立	会 場	コード No.	研 修 内 容 【 】内は領域
		保育士経験 3年未満	保育士経験 3年以上				
園外 1	4月21日(金) 9:30～16:00	必修	必修	任意 (推奨)	教育総合研究所	701	・教職員の服務・規律
						702	・幼児教育の方針・目標・現状と課題
						711	・教育課程と指導計画
						718	・音楽遊び【表現】
						719	・造形遊び【表現】
						***	・「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び
			***	・研修ガイダンス			
園外 2	6月7日(水) 9:30～16:00		任意 (推奨)		教育総合研究所	712	・幼児の安全
				713		・食育【健康】	
				716		・運動遊び・水遊び等【健康】	
園外 3	7月7日(金) 9:30～16:00		任意 (推奨)		教育総合研究所	722	・人との関わり、保護者・地域社会との連携【人間関係】
				704		・幼児の人権	
				731		・教職員のメンタルヘルス・自己マネジメント	
園外 4	9月14日(木) 9:30～16:00		任意 (推奨)		教育総合研究所		・身近な自然に関わる遊び【環境】
				717		・戸外環境の生かし方【環境】	
						・環境構成の工夫【環境】	
園外 5	11月16日(木) 9:30～16:00		必修		教育総合研究所 嶺南教育事務所	714	・言葉の発達の理解【言葉】
				723		・気がかりな幼児への支援	
				724		・教育相談の基礎的な理論と方法	
				721		・幼小接続カリキュラム	
				762		・気がかりな幼児への支援	
					<小学校初任者とのクロスセッション>		
園外 6	(各自)		必修		参観園	771	「幼稚園・認定こども園・保育所参観」 ・保育参観 ・研究協議

園外研修1～5の受付時間は 9:00～9:20

※感染症や災害等でオンライン研修に変更する場合は、別途通知する。その場合は、各園での受講（Zoom）となる。

※園外研修5は受講会場を各自が選択する。計画書の選択欄に記入すること。

※園外研修6は公開保育実施園等の中から選択し、園長と相談の上、決定し、実施要項や申込方法を確認の上、各自で参加申込みをする。保育参観および研究協議の双方に参加すること。計画書の作成段階で参加園・期日が未定の場合は「未定」と記入する。申込が完了した時点で、様式3「園外研修計画書」に追記し、教育総合研究所にメールで報告する（メールアドレスは目次ページ参照）。

8 研修を受けるに当たって

(1) 園外研修の準備物

- ・研修の手引き（本誌）
- ・筆記用具、ノート等、名札（形式は右図参照）
- ・幼稚園教育要領解説または、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月版）
- ・研修資料
＜ダウンロード方法＞
教育総合研究所ホームページから「Single Sign On」にログインし、「教育情報システム」→「研修資料」→「幼・こ園研修」より資料をダウンロードする ※ID・パスワードは別途通知
- ・その他、上記以外に準備物や課題等が必要な場合は別途通知する。

【名札形式(名刺大)】

○○○○園
氏名○○ ○○

(2) 研修の参加に支障が生じたとき

指定された研修日に受講できない場合や、災害・事故等の緊急事態により研修の参加に支障が生じた場合は、園長を通じて教育総合研究所に連絡する。

(3) 研修記録の記入等

研修を受けた後「園内研修記録・報告書」および「園外研修記録・報告書」の欄に必要事項を記入する。園外研修は復命時に園長の検印を受ける。

3 提出書類等

1 各書類の詳細

次の(1)～(4)の様式を、教育総合研究所HP「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードし、p. 7の提出経路に従って締切日までにメールで提出する。提出時のファイル形式はPDFとする。

(1) 「園内研修計画書」(様式1) ※p. 8に記入例

園内研修において指導・助言を行う者の指導を受けて作成し、データで提出する。

ファイル名：【園名_氏名(フルネーム)】園内研修計画書

(2) 「園内研修記録・報告書」(様式2)

研修終了ごとに記入する。全研修終了後に、データで提出する。

ファイル名：【園名_氏名(フルネーム)】園内研修記録・報告書

(3) 「園外研修計画書」(様式3) ※p. 9に記入例

データで提出する。作成段階で園外研修6の期日・会場が未定の場合は「未定」と記入する。

ファイル名：【園名_氏名(フルネーム)】園外研修計画書

(4) 「園外研修記録・報告書」(様式4)

研修終了ごとに記入し、復命時に園長より検印を受ける。全研修終了後に、スキャンしたデータを提出する。

ファイル名：【園名_氏名(フルネーム)】園外研修記録・報告書

(5) 園外研修に伴う諸届

次のものは、必要に応じて園長が作成し、提出経路(p. 7)に従って提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」からダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。

「欠席届」(共通様式1)・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

「延期願」(共通様式2)・・・受講が次年度以降になる場合

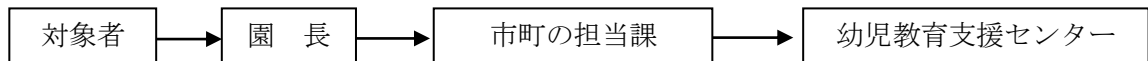
2 提出経路

提出経路および提出先と締切日は、特に指示のない限り次のとおりとする。

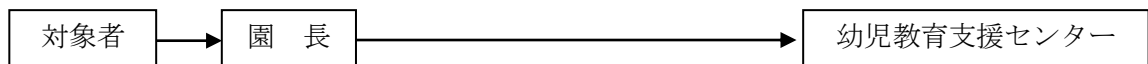
(1) 園内研修

提出書類	市町の担当課	幼児教育支援センター
園内研修 計画書 (様式1)	5月19日 (金)	5月26日 (金)
園内研修 記録・報告書 (様式2)	3月1日 (金)	3月8日 (金)

○ 公立幼稚園、公立認定こども園、私立認定こども園



○ 国立幼稚園、私立幼稚園

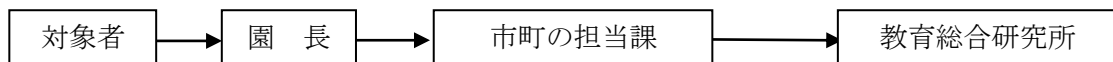


※メールアドレスは目次ページ参照

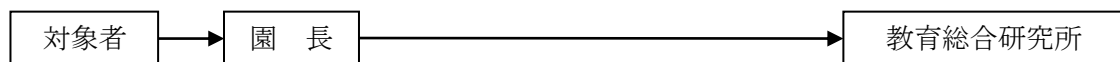
(2) 園外研修

提出書類	市町の担当課	教育総合研究所
園外研修 計画書 (様式3)	4月28日 (金)	5月12日 (金)
園外研修 記録・報告書 (様式4)	3月1日 (金)	3月8日 (金)

○ 公立幼稚園、公立認定こども園、私立認定こども園



○ 国立幼稚園、私立幼稚園



※メールアドレスは目次ページ参照

様式1 〈記入例〉

令和5年度 幼稚園・幼保連携型認定こども園 新規採用教員研修

園 内 研 修 計 画 書

園名

(公) 私)

園長名

職名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教諭 ○ 保育教諭 	ふりがな	○○○○ ○○○
		氏名	○○ ○○
職歴	<small>以下○を付け、経験年数を書いてください。</small> (保育所) / 幼稚園 / 認定こども園 / 無 (県内) / 県外 2 年)		
担当	2歳児・その他 ()	指導員名	○○ ○○
No.	期日	研 修 内 容	
1	6月○日 (○)	新任教員としての心構え 保育者としての常識、マナー 健康安全指導の進め方 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
2	7月○日 (○)	指導計画(週案・日案)の作成 教育目標と学級経営 教育相談、保護者会の進め方 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
3	9月○日 (○)	園具・教具の工夫 幼児の理解と指導の実際 学級経営の基礎 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
4	11月○日 (○)	記録のとり方と指導要録の記入の実際 心の教育 組織と個人の役割(園務分掌) 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
5	1月○日 (○)	行事の考え方と実際 園の自己評価と情報提供 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際 研修のまとめ	

様式3 〈記入例〉

令和5年度 幼稚園・幼保連携型認定こども園 新規採用教員研修

園 外 研 修 計 画 書

園 名 (公)・私

園長名

園電話番号 - -

職 名	<input checked="" type="radio"/> 幼稚園教諭 <input type="radio"/> 保育教諭	ふりがな	〇〇〇〇 〇〇〇
		氏 名	〇〇 〇〇
職 歴	以下○を付け、経験年数を書いてください。 保育所／幼稚園／認定こども園 <input checked="" type="radio"/> (県内／県外 年)		
担 当	3 歳児・その他 ()	所 有 免 許 状	
研修への参加	期 日	会 場	コードNo. 研 修 内 容
<input type="radio"/>	園外1 4月21日(金)	教育総合研究所	701 ・教職員のサービス・規律 702 ・幼児教育の方針・目標・現状と課題 711 ・教育課程と指導計画 718 ・音楽遊び【表現】 719 ・造形遊び【表現】 ・「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び ・研修ガイダンス
<input type="radio"/>	園外2 6月7日(水)	教育総合研究所	712 ・幼児の安全 713 ・食育【健康】 716 ・運動遊び・水遊び等【健康】
<input type="radio"/>	園外3 7月7日(金)	教育総合研究所	722 ・人との関わり、保護者・地域社会との連携【人間関係】 704 ・幼児の人権 731 ・教職員のメンタルヘルス・自己マネジメント
<input type="radio"/>	園外4 9月14日(木)	教育総合研究所	717 ・身近な自然に関わる遊び【環境】 ・戸外環境の生かし方【環境】 ・環境構成の工夫【環境】
<input type="radio"/>	園外5 11月16日(木)	教育総合研究所(○) 嶺南教育事務所()	714 ・言葉の発達の理解【言葉】 723 ・気がかりな幼児への支援 724 ・教育相談の基礎的な理論と方法 721 ・幼小接続カリキュラム 762 ・気がかりな幼児への支援 <小学校初任者とのクロスセッション>
<input type="radio"/>	園外6 月 日 ()	未定	771 「幼稚園・認定こども園・保育所参観」 ・保育参観 ・研究協議

※公立教員は経験年数に応じて「研修への参加」欄に○を記入する。(p. 5参照)

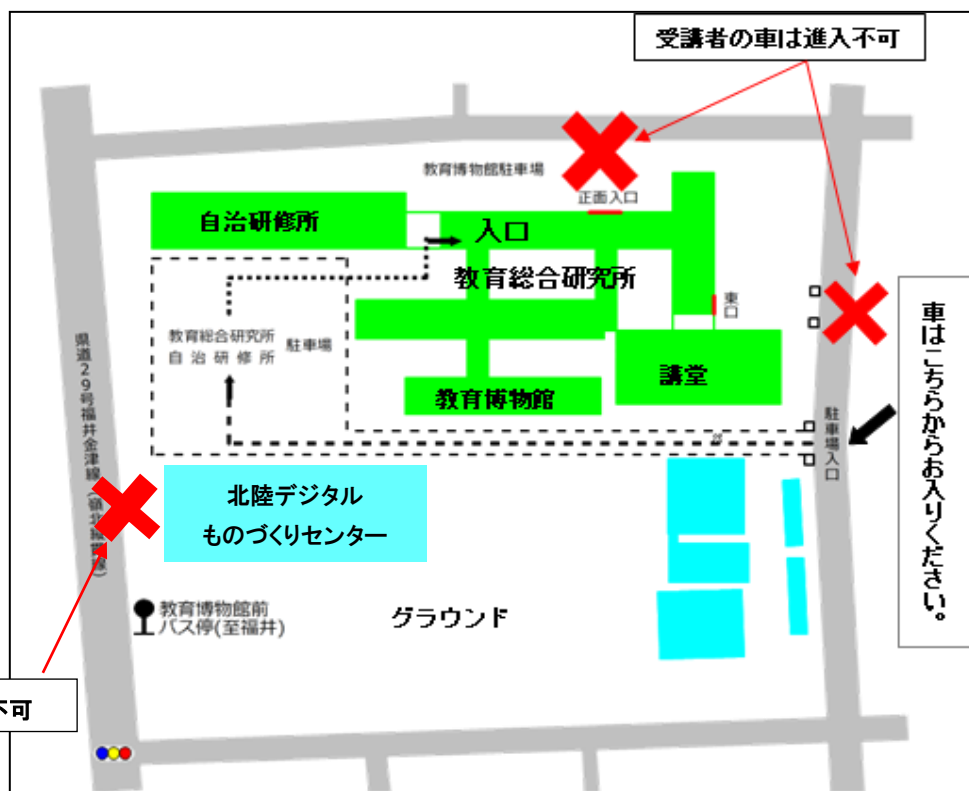
※私立教員は出席する研修のみ「研修への参加」欄に○を記入する。

※園外5については、希望会場に○を記入する。

※園外6の期日・会場が未定の場合は「未定」と記入する。

教育総合研究所 案内図

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1
TEL: (0776)58-2160



教育総合研究所の周辺は住宅街ならびに近隣学校の通学路となっておりますので、運転の際は徐行を心がけてください。

